



さくらい え  
櫻井 ひろ江  
(日本共産党安中市議員)

### 病院事業・介護保険について

#### 新改革プランの病院全体での取り組みについて

**問** プランを実施するには、病院全体で一丸となって進めることが重要。各職場での取り組みは。

**答** 関係する職場・職種ごとにヒアリングを行い、基本方針を決定しました。代表者会議で状況や問題点などを出して協議し、院内全職員に周知するなど参加意識を高める工夫をしています。

**問** 具体的な各職場での意見などは示されていないので、全職員一丸となつての取り組みが足りないと感じてしまうが。

**答** 実施の方法を工夫しながら、更なる職員の意識改革に取り組めます。

**問** プランの見直しについて



公立碓氷病院

性が示せなければならぬので一概には言えませんが、スピード感を持って検討します。

**問** 方向性を出した後、独立行政法人では短くても2年以上はかかるようだが、最短は地方公営企業法の全部適用ではないか。

**答** 病院の規模や立地環境などにより、最適な経営形態は違ってくるので、関係者の意見を伺いながら検討していきます。

**その他、病院事業で2項目と介護保険で2項目を質問しました。**



かない ひさお  
金井 久男  
(日本共産党安中市議員)

### 農業振興・国民健康保険制度について

#### 構造改革特区について

**問** 国の「構造改革特区」とは、どういったものか。

**答** 規制を外し、地域にあった特例措置を導入する制度で平成14年度に創設されました。

**問** 特例措置で、ワインの最低製造量が下がったのではないか。

**答** 酒税法で特区認定されると、果実酒は最低2キロリットルとなり、小規模事業者が参入できることが期待されます。

**問** 意欲のある農家にブドウ栽培などに必要な知識や技術などを支援することは可能か。

**答** 園地の植栽に対する補助事業があり、意欲のある農家や農業法人があれば、協議し支援方法を研究したいと思います。

**国保と他の健康保険との保険料の比較について**

**問** 標準的な家庭で国保と協会けんぽとの保険料負担の格差は。



市内にあるブドウ畑

00万円の世帯と比較すると国保、年39万4000円。協会けんぽは、雇用主と折半されるので、23万6000円となります。

**国保税の均等割・平等割・資産割の見直しについて**

**問** 同じ収入、家族構成で約2倍の格差がある。問題がある均等割・平等割を除外したら、先ほどのケースで、保険料はいくらになるか。

**答** 国保の税額は約16万4000円減の、23万円となります。